

キャベツ

1 予報（9月）の内容

病害虫名	発生時期	発生量 ・ 感染量	予報の根拠
コナガ	－	並	(1) 8月中旬の巡回調査では、産卵は確認されなかった。(－) (2) 9月の気温は高い予報。(＋)
ヨトウガ	－	並	(1) 8月中旬の巡回調査では、産卵は確認されなかった。(－) (2) 9月の気温は高い予報。(＋)

記号の説明 (++)：重要な多発要因、(+)：多発要因、(±)：並発要因、(－)：少発要因、(－-)：重要な少発要因

2 防除のポイント

【共通事項】

(1) コナガ、ウワバ類、モンシロチョウ等は同時防除を実施する。

【コナガ】

(1) 定植時に薬剤処理を実施した場合でも、圃場をよく観察し、発生状況に応じて防除を実施する。

(2) 薬剤抵抗性個体の出現を回避するため、以下のことに留意する。

ア 飛来性の害虫であり、ジアミド系殺虫剤の効果が低いコナガは本県に広く発生している可能性があるため、ジアミド系殺虫剤による防除を実施したにもかかわらず、コナガの幼虫が見られる場合には、他系統の薬剤により防除を実施する。

イ 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一薬剤、同一系統の連用は避け、異なる系統の薬剤をローテーション使用する。また、ジアミド系殺虫剤の使用は1作型1回にとどめる。

【ヨトウガ】

(1) 生育が進んだ幼虫は防除が困難となるため、若齢幼虫までの防除を徹底する。

【オオタバコガ、ハスモンヨトウ】

(1) オオタバコガやハスモンヨトウのフェロモントラップへの誘殺数が増加しているので、圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を実施すること。(令和6年8月27日発表 農作物病害虫防除速報No. 14 参照)